

G-SCAN

整備サポートセンターからの 整備技術情報



製品について詳しくは
g-scan.jp



整備サポートセンター

サポート費 ¥27,500^{税込} / 年

月～金 10:00～17:00 / 土 10:00～15:00

(祝祭日、休業日は除く)

マツダ

ブレーキメンテナンスモード

- 対応車種: MAZDA3(BP 系 R1/5～)
MAZDA6(GJ 系 R1/8～)
CX-3(DK 系 H27/3～)
CX-5(KE 系 H26/11～H29/2 、KF 系 H29/2～)
CX-8(KG 系 H29/12～)
CX-30(DM 系 R1/10～)
MX-30(DR 系 R1/8～)

マツダ車のブレーキパッド交換時の電動パーキングブレーキ『メンテナンスモード』への移行方法を記載しますので、参考にしてください。

- ・メンテナンスモードに入ると、ディスクパッドとディスクプレート間のクリアランスが広がります。
- ・メンテナンスモード終了時は、電動パーキングブレーキの自動調整を行います。
- ・電動パーキングブレーキの自動調整は、通常時よりも電動パーキングブレーキモータギヤユニットの作動時間が長くなります。

メンテナンスモードへの移行

※注意※

- ・電動パーキングブレーキを解除する為、車両が動く可能性があります。車両を地面に設置させた状態で作業を行う場合は、前輪と後輪に輪止めをしてください。

1. エンジンスイッチを ON(エンジン停止)にしてください。

2. ブレーキペダルを踏み電動パーキングブレーキスイッチを押し下げて、パーキングブレーキを解除してください。
3. ブレーキペダルを離して、アクセルペダルに踏みかえて全開まで(A/T 車の場合はキックダウンスイッチが押し込まれるまで)踏み込んで、その状態を保持してください。
4. 電動パーキングブレーキスイッチを押し下げて、その状態を保持してください。
5. 以下の手順を 5 秒以内に行ってください。
 - (1). エンジンスイッチを OFF にしてください。
 - (2). エンジンスイッチを ACC にしてください。
 - (3). エンジンスイッチを ON(エンジン停止)にしてください。
6. 電動パーキングブレーキ警告灯(ブレーキコントロールシステム警告灯)が橙点灯して、メンテナンスモードに移行していることを確認してください。
7. エンジンスイッチを OFF にして、アクセルペダルと電動パーキングブレーキスイッチを離してください。

メンテナンスモードの終了

1. エンジンスイッチを ON(エンジン停止)にしてください。
2. アクセルペダルを全開まで(A/T 車の場合はキックダウンスイッチが押し込まれるまで)踏み込んで、その状態を保持してください。
3. 電動パーキングブレーキスイッチを引き上げて、その状態を保持してください。
4. 以下の手順を 5 秒以内に行ってください。
 - (1). エンジンスイッチを OFF にしてください。
 - (2). エンジンスイッチを ACC にしてください。
 - (3). エンジンスイッチを ON(エンジン停止)にしてください。

5. 電動パーキングブレーキ警告灯(ブレーキコントロールシステム警告灯)が消灯して、メンテナンスモードが終了していることを確認してください。

6. エンジンスイッチを OFF にして、アクセルペダルと電動パーキングブレーキスイッチを離してください。

問い合わせ窓口

■ アフターサポート

ナビダイヤル **0570-064-737**

受付時間：月～金 10:00～17:00 ※祝日、休業日は除く
※IP電話・PHSからはご利用出来ません

音声ガイダンスに従って、ご希望の番号を押してください

- ① 整備サポートセンター
- ② 製品保守センター
- ③ アフターサービス更新のお申込み

株式会社インターサポート 〒310-0803 茨城県水戸市城南1丁目6番39号

Tel 029-303-8021 (代) / Fax 029-303-8022

<https://www.inter-support.co.jp/>

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。
本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。